



2026年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2026年1月29日

上場会社名 株式会社 プレステージ・インターナショナル

上場取引所

東

コード番号 4290 URL <https://www.prestigein.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員グループCEO (氏名) 玉上 進一

問合せ先責任者 (役職名) グループ経営統括部 広報・IR部 IR担当 (氏名) 中村 哲也
当部長

TEL 03-5213-0826

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績(2025年4月1日～2025年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	52,621	10.5	6,680	11.3	7,388	15.2	4,192	14.4
2025年3月期第3四半期	47,600	8.8	6,000	2.5	6,413	3.0	3,665	4.9

(注)包括利益 2026年3月期第3四半期 5,569百万円 (20.9%) 2025年3月期第3四半期 4,606百万円 (-9.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益	
		円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	33.20		33.12
2025年3月期第3四半期	28.78		28.71

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第3四半期	82,026	50,820	57.2
2025年3月期	71,590	49,641	64.3

(参考)自己資本 2026年3月期第3四半期 46,923百万円 2025年3月期 46,029百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期		12.00		12.00	24.00
2026年3月期(予想)		13.00			
				13.00	26.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	70,000	9.9	8,500	6.8	8,900
				5.7	5,300
					8.8
					41.80

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無

以外の会計方針の変更：無

会計上の見積りの変更：無

修正再表示：無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年3月期3Q	127,176,300 株	2025年3月期	128,676,300 株
期末自己株式数	2026年3月期3Q	1,778,323 株	2025年3月期	1,884,623 株
期中平均株式数(四半期累計)	2026年3月期3Q	126,278,421 株	2025年3月期3Q	127,350,341 株

添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(決算補足説明資料の入手方法について)

決算補足説明資料は2026年1月29日(木)に当社ウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(セグメント情報等の注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間（2025年4月1日～2025年12月31日）におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善を背景に緩やかな回復基調となりました。企業部門においては、世界的な生成AI開発競争を背景とした需要拡大が見られる一方で、米国の通商政策の動向や地政学リスクの高まりなど、先行き不透明な状況が続いております。さらには日本銀行の政策変更に伴う金利のある経済環境への移行や円安基調の継続による物価高、深刻化する人手不足や賃金上昇が企業経営の重荷となっております。

当社グループが主力とする国内BPO（ビジネス・プロセス・アウトソーシング）市場におきましては、こうした慢性的な人手不足を背景に、企業が業務効率化やコア業務へのリソース集中を図る動きが加速しており、需要は堅調に推移しております。

このような環境のもと、当社グループは「エンドユーザー（消費者）の不便さやお困りごとを解決する」というコンセプトに基づき、BPO事業の拡大に努めてまいりました。当期におきましては、AI等のデジタル技術を活用したオペレーションの効率化を推進する一方、「人ならではの高度な問題解決能力」の追求がクライアントからの高い評価に繋がり、一部で時間を要していた委託料改定が妥結するなど、当第3四半期の業績を押し上げる重要な要因となりました。また、国内における深刻な採用難や人件費上昇の環境下においても、当社グループは質の高いサービス提供の源泉となる人材の確保・定着を最重要課題と位置づけ、従業員の待遇改善を実施いたしました。さらに、採用地域を拡大すべく、青森県三沢市等に新たな拠点を開設し、東北地方において点ではなく面でのオペレーション拠点網の拡充を図り、安定的な運営体制の構築に努めています。こうした人的資本への投資に伴うコストの増加につきましては、デジタル技術の導入による業務効率化や、クライアントへの適正な価格転嫁によって吸収し、収益性の維持・向上を図ってまいりました。

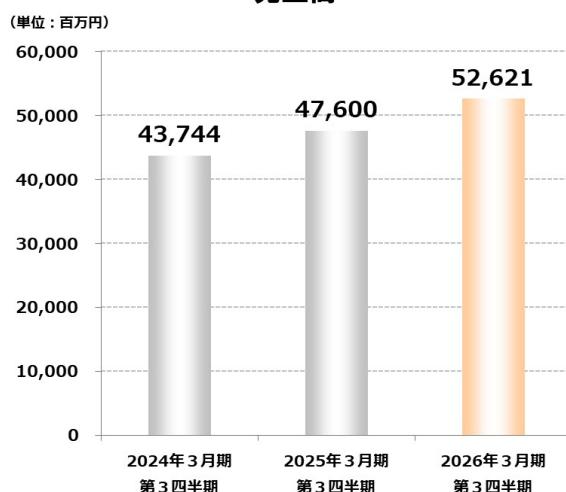
当第3四半期における経営成績につきましては、プロパティ事業が好調に推移、グローバル事業における円安効果や駐在員向けのサービスが堅調を維持したほか、金融保証事業においてグループ会社の株式会社イントラストの業績も堅調に推移いたしました。また、財務面では受取利息や為替差益も利益を押し上げる要因となりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高につきましては、52,621百万円（前年同期比10.5%増）、営業利益は6,680百万円（前年同期比11.3%増）となりました。経常利益に関しましては、7,388百万円（前年同期比15.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は、4,192百万円（前年同期比14.4%増）となり、增收増益を達成し、売上高及び各段階利益において、第3四半期連結累計期間としての過去最高を更新いたしました。

	前第3四半期	当第3四半期	参考 前連結会計年度
売上高	47,600百万円	52,621百万円	（前年同期比10.5%増、5,020百万円増） 63,719百万円
営業利益	6,000百万円	6,680百万円	（前年同期比11.3%増、680百万円増） 7,961百万円
経常利益	6,413百万円	7,388百万円	（前年同期比15.2%増、975百万円増） 8,416百万円
親会社株主に帰属する 四半期純利益	3,665百万円	4,192百万円	（前年同期比14.4%増、526百万円増） 4,870百万円
1株当たり 四半期純利益	28.78円	33.20円	38.28円

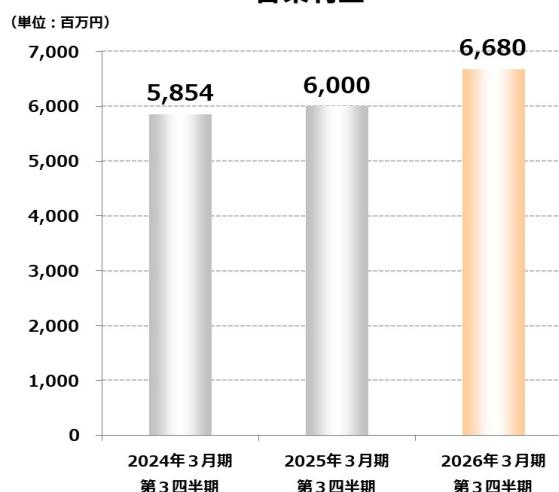
(単位：百万円)

売上高



(単位：百万円)

営業利益



● オートモーティブ事業

主に損害保険会社や自動車メーカー向けロードサービス等を提供しているオートモーティブ事業は、自動車保険会社の契約台数の増加に加え、一部で時間を要していた委託料改定が妥結し、増収となりました。

営業利益につきましては、7月から協力会社への価格改定により支払単価が上昇したものの、繁忙期と比較して仕入コストが抑制されたことや売上が増加したことにより、増益となりました。

	前第3四半期	当第3四半期
売上高	20,479百万円	22,449百万円
営業利益	2,621百万円	2,662百万円
(増減)	(金額)	(率)
売上高	+1,969百万円	+9.6%
営業利益	+41百万円	+1.6%

● プロパティ事業

分譲・賃貸マンション・戸建ての修繕とコインパーキングのメンテナンス等を提供するプロパティ事業は、ホームアシストにおける賃貸住宅向け駆けつけサービスが安定的に推移したことが寄与し、増収となりました。

営業利益につきましても、売上高の成長に加え、一部のクライアントとの契約内容の見直し等により収益性が改善いたしました。

	前第3四半期	当第3四半期
売上高	6,333百万円	7,341百万円
営業利益	499百万円	607百万円
(増減)	(金額)	(率)
売上高	+1,008百万円	+15.9%
営業利益	+108百万円	+21.7%

● グローバル事業

海外旅行保険のクレームエージェント、駐在員向けの医療サポート（ヘルスケアプログラム）業務等を行うグローバル事業は、主力のヘルスケアプログラムが堅調に推移したことにより、新たなクライアント企業を獲得し増収となりました。

営業利益につきましては、海外拠点におけるサービス品質向上の為、現地スタッフの採用を拡充する等、強固なビジネスモデル構築に向けて投資も行っておりますが、増益を維持しております。

	前第3四半期	当第3四半期
売上高	6,763百万円	7,759百万円
営業利益	872百万円	994百万円
(増減)	(金額)	(率)
売上高	+996百万円	+14.7%
営業利益	+122百万円	+14.0%

● カスタマー事業

カスタマーサポートサービスを展開しているカスタマー事業は、主力事業の業務拡大や委託料改定も進捗している一方で、既存業務の取捨選択を進めたことにより、売上高は微減ましたが、営業利益は前年同期比で改善いたしました。

	前第3四半期	当第3四半期
売上高	4,995百万円	4,945百万円
営業利益	522百万円	704百万円
(増減)	(金額)	(率)
売上高	△49百万円	△1.0%
営業利益	+181百万円	+34.7%

● 金融保証事業

家賃や医療費等、生活に関わる金融保証サービスを提供する金融保証事業は、グループ会社の株式会社イントラスト（証券コード：7191）が展開する事業において、主力の家賃債務保証事業に加え、医療費用保証事業及び介護費用保証事業も拡大を継続し、売上高及び営業利益ともに二桁成長を維持いたしました。

	前第3四半期	当第3四半期
売上高	7,752百万円	8,865百万円
営業利益	1,720百万円	2,025百万円
(増減)	(金額)	(率)
売上高	+1,113百万円	+14.4%
営業利益	+304百万円	+17.7%

● IT事業

ITソリューションを提供するIT事業は、製造業を中心
に、サプライチェーンマネジメントシステムを提供してい
る事業において、第1四半期（4月～6月）での先行売上
が收れんし、プログラム開発者への先行投資により、減収
減益となりました。

	前第3四半期	当第3四半期
売上高	751百万円	587百万円
営業利益	151百万円	77百万円
(増減)	(金額)	(率)
売上高	△164百万円	△21.9%
営業利益	△73百万円	△48.7%

● ソーシャル事業

女子スポーツチーム「アランマーレ」の運営、保育事業
及び地方創生事業を行うソーシャル事業は、引き続きスボ
ーツ事業における協賛企業からのスポンサー収入に加え、
保育事業においても計画通り推移し、増収となりました。

営業利益につきましては、アランマーレの強化に伴う支
出が継続しておりますが、観客動員増を通じた地域の活性
化推進及び当社グループの認知度向上による採用活動の強
化につなげてまいります。

	前第3四半期	当第3四半期
売上高	524百万円	671百万円
営業利益	△384百万円	△380百万円
(増減)	(金額)	(率)
売上高	+146百万円	+28.0%
営業利益	+3百万円	—

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第3四半期末における総資産は、82,026百万円となり前連結会計年度末に比べ10,436百万円増加となりました。
流動資産は、現金及び預金が4,814百万円増加、流動資産のその他が1,228百万円増加、仕掛品が575百万円減少いた
しました。これらにより流動資産合計では前連結会計年度末より5,685百万円増加し、47,909百万円となりました。
固定資産は、有形固定資産のその他が3,482百万円増加、無形固定資産のその他が860百万円増加、投資有価証券が
497百万円増加し、固定資産合計では前連結会計年度末より4,750百万円増加し、34,117百万円となりました。

負債に関しましては、短期借入金が7,937百万円増加、流動負債のその他が1,184百万円増加いたしました。これら
により負債合計では前連結会計年度末より9,257百万円増加し、31,206百万円となりました。

また、純資産については、自己株式の取得、自己株式の消却、譲渡制限付株式報酬としての自己株式の処分に加
え、配当金の支払いを実施しましたが、親会社株主に帰属する四半期純利益が4,192百万円となったため、前連結会計
年度末に比べ1,178百万円増加し、50,820百万円となりました。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流动資産		
現金及び預金	23,407,674	28,222,313
売掛金	6,485,910	6,770,380
立替金	10,730,598	11,140,202
商品及び製品	106,111	148,578
仕掛品	671,391	95,425
原材料及び貯蔵品	129,093	117,729
その他	3,409,399	4,638,196
貸倒引当金	△2,716,165	△3,223,415
流动資産合計	42,224,013	47,909,410
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	13,644,642	13,676,736
その他（純額）	2,576,827	6,059,161
有形固定資産合計	16,221,469	19,735,897
無形固定資産		
のれん	180,816	141,000
その他	2,138,782	2,999,215
無形固定資産合計	2,319,598	3,140,216
投資その他の資産		
投資有価証券	9,592,066	10,090,018
その他	1,307,933	1,223,242
貸倒引当金	△74,394	△72,003
投資その他の資産合計	10,825,606	11,241,257
固定資産合計	29,366,674	34,117,371
資産合計	71,590,688	82,026,782

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,433,897	1,691,315
短期借入金	125,000	8,062,500
未払法人税等	1,510,790	1,018,182
契約負債	4,461,263	4,858,647
賞与引当金	911,489	618,339
保証履行引当金	826,395	917,320
その他	9,826,321	11,010,399
流動負債合計	19,095,157	28,176,705
固定負債		
退職給付に係る負債	22,784	29,680
資産除去債務	2,126,178	2,194,481
その他	704,633	805,815
固定負債合計	2,853,597	3,029,977
負債合計	21,948,755	31,206,682
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,601,210	1,601,210
資本剰余金	2,822,256	2,700,918
利益剰余金	39,619,190	39,751,787
自己株式	△1,278,859	△1,176,412
株主資本合計	42,763,797	42,877,503
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	722,996	943,331
為替換算調整勘定	2,542,454	3,102,994
その他の包括利益累計額合計	3,265,451	4,046,326
新株予約権	262,652	272,949
非支配株主持分	3,350,032	3,623,321
純資産合計	49,641,933	50,820,099
負債純資産合計	71,590,688	82,026,782

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	47,600,910	52,621,251
売上原価	37,101,278	41,189,467
売上総利益	10,499,632	11,431,784
販売費及び一般管理費	4,499,626	4,751,092
営業利益	6,000,005	6,680,692
営業外収益		
受取利息	9,940	46,914
有価証券利息	232,586	249,580
受取配当金	5,756	6,017
為替差益	67,395	309,932
持分法による投資利益	126,939	159,328
その他	30,413	50,303
営業外収益合計	473,031	822,076
営業外費用		
支払利息	2,522	26,559
貸倒引当金繰入額	20,899	—
支払手数料	8,166	53,194
その他	27,873	34,407
営業外費用合計	59,462	114,161
経常利益	6,413,575	7,388,608
特別利益		
固定資産売却益	3,525	3,226
投資有価証券売却益	10,798	40,151
特別利益合計	14,323	43,378
特別損失		
固定資産売却損	0	1,662
固定資産除却損	26,662	11,928
その他	1,582	—
特別損失合計	28,245	13,590
税金等調整前四半期純利益	6,399,654	7,418,395
法人税、住民税及び事業税	2,082,155	2,516,875
法人税等調整額	192,132	136,488
法人税等合計	2,274,288	2,653,363
四半期純利益	4,125,366	4,765,031
非支配株主に帰属する四半期純利益	459,910	572,865
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,665,455	4,192,165

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	4,125,366	4,765,031
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	138,640	244,131
為替換算調整勘定	342,336	560,539
その他の包括利益合計	480,977	804,671
四半期包括利益	4,606,343	5,569,702
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,157,274	4,973,040
非支配株主に係る四半期包括利益	449,068	596,662

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	日本	米州・欧州	アジア・ オセアニア	計		
売上高						
外部顧客への売上高	43,989,800	2,418,792	1,192,318	47,600,910	—	47,600,910
セグメント間の内部 売上高又は振替高	990,914	525,493	624,311	2,140,719	(2,140,719)	—
計	44,980,714	2,944,285	1,816,629	49,741,629	(2,140,719)	47,600,910
セグメント利益	6,504,210	477,474	426,332	7,408,017	(1,408,011)	6,000,005

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	7,408,017
セグメント間取引消去	△751,137
全社費用（注）	△656,873
四半期連結損益計算書の営業利益	6,000,005

(注) 全社費用は、親会社の管理部門にかかる費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	日本	米州・欧州	アジア・ オセアニア	計		
売上高						
外部顧客への売上高	48,861,665	2,456,292	1,303,293	52,621,251	—	52,621,251
セグメント間の内部 売上高又は振替高	656,360	619,716	876,088	2,152,166	(2,152,166)	—
計	49,518,025	3,076,009	2,179,382	54,773,417	(2,152,166)	52,621,251
セグメント利益	6,866,329	475,952	419,894	7,762,177	(1,081,484)	6,680,692

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	7,762,177
セグメント間取引消去	△367,754
全社費用（注）	△713,730
四半期連結損益計算書の営業利益	6,680,692

(注) 全社費用は、親会社の管理部門にかかる費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2025年5月9日開催の取締役会決議に基づき、当第3四半期連結累計期間において自己株式1,500,000株を1,018,500千円で自己株式の消却を実施、併せて、同取締役会決議に基づき、当第3四半期連結累計期間において自己株式750,000株を471,904千円で取得しました。また、2025年7月16日開催の取締役会決議に基づき、当第3四半期連結累計期間において自己株式133,000株を82,593千円で譲渡制限付株式報酬としての自己株式の処分を実施いたしました。さらに、2025年10月29日開催の取締役会決議に基づき、当第3四半期連結累計期間において自己株式776,700株を529,268千円で取得しました。

これらにより、当第3四半期連結累計期間において自己株式が102,447千円、利益剰余金が897,797千円、資本剰余金が123,229千円減少しております。これらの結果により、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が△1,176,412千円、利益剰余金が39,751,787千円、資本剰余金が2,700,918千円となっております。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	1,673,287千円	1,847,137千円
のれんの償却額	26,347	39,815